豚の健康を守るから創るへ

イムノバイオティクスと抗病性改良ＤＮＡマーカーが拓く次世代養豚



参加費 無料（事前登録制）

2026 12.11 (fri)

Zoomとのハイブリッド開催

13:00▶17:30【受付・登録12:30開始】

交流会 18:00 ▶ 20:00（会費 7,000 円）【地下２階「クラルテ」】

場　所

主婦会館プラザエフ ９階会議室「スズラン」

【〒102-0085 東京都千代田区六番町15】

JR四ッ谷駅 麹町口から徒歩１分
東京メトロ 四ッ谷駅から徒歩３分

プログラム

総合司会：上西博英（農研機構）

13:00～13:10	主催者および来賓挨拶	
13:10～13:40	特別講演：アフリカ、講義室、実験室で考える養豚のこれから	勝俣昌也（麻布大学）
13:40～13:55	プロジェクトの概要説明	北澤春樹（東北大学）
13:55～15:10	**【第 1 部】イムノバイオティクスの開発と活用**	**座長：北澤春樹（東北大学）**
13:55～14:20	ポストイムノバイオティクスで子豚を守る ～腸から高める抗ウイルス免疫～	生井楓（東北大学・信州大学）
14:20～14:45	イムノシンバイオティクス研究と将来性	今井勇志（宮城県畜産試験場）
14:45～15:10	イムノバイオティクスの開発と実用化	犬童優樹（株式会社エス・ディー・エス バイオテック）
15:10～15:25	～休憩～	
15:25～16:45	**【第 2 部】豚抗病性改良 DNA マーカーの開発と活用**	**座長：上西博英（農研機構）**
15:25～15:50	抗病性育種をベースとした生産性向上の実例紹介	鈴木香澄（岐阜県畜産研究所）
15:50～16:15	新規抗病性改良 DNA マーカーの開発と生産現場での利用可能性	新開浩樹（農研機構）
16:15～16:30	養豚現場からの豚抗病性改良 DNA マーカーへの期待	林篤志（株式会社林牧場）
16:30～16:45	豚の抗病性 DNA マーカーへの期待 ～種豚会社から見た可能性～	富山雅光（株式会社シムコ）
16:45～17:00	～休憩～	
17:00～17:25	**【第 3 部】パネルディスカッション**	**司会：上西博英（農研機構）**
17:00～17:25	総合討論	
17:25～17:30	閉会の挨拶	北澤春樹（東北大学）

参加登録用 URL

https://forms.cloud.microsoft/r/YKwZRHk8cz

交流会**ご参加**の場合 **11 月 19 日㈭まで**
交流会**ご欠席**の場合 **12 月 10 日㈭まで**
上記サイト（右記 2 次元コード）より登録をお願いします。

【オンライン参加の方への注意事項】
※開催日の前日までに視聴方法や注意事項などをご連絡いたします。
※視聴方法の転送不可（参加ご希望の方は個別にお申し込みください。）

本シンポジウムの成果は、JRA（日本中央競馬会特別振興資金助成事業）および BRAIN（イノベーション創出強化研究推進事業）によるものです。

【問い合わせ事務局】農研機構　生物機能利用研究部門
Mail pig_symposium2026@ml.affrc.go.jp
TEL ０２９－８３８－６１４６（担当：長井）

主　催 国立大学法人 東北大学 大学院農学研究科
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
後　援 日本中央競馬会 / 公益社団法人 畜産技術協会 / 一般社団法人 日本養豚協会
一般社団法人 日本科学飼料協会 / 国産純粋種豚改良協議会